

コアカザ (小藜)

名前の意味^{いみ}：小さなアカザの意味。

分類：双子葉類、アカザ科、アカザ属

好きな場所：日当たりのよい^{みちばた}道端、空き地

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：ユーラシア原産

特徴：白い粉をまぶしたような柔らかい葉、^{つぶつぶ}粒々に見える^{かじよ}花序（花の集まり）。

種子の運ばれかた：

花弁の数：花弁はない

花の時期：7—9月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：シロザはコアカザより大きくなり、高さ 60-150cm になる。コアカザは 30-60cm ぐらい。またシロザの花は^{おそ}遅く、9—10月ぐらいに^さ咲く。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)